

柳井市教育委員会会議 会議録

1 会議の開催

(1) 日 時 令和7年9月12日(金) 開会 午後1時30分
閉会 午後2時10分

(2) 場 所 サンビームやない視聴覚室

2 出席委員

教 育 長	西元 良治
教育委員	厚坊 俊己
教育委員	瀬山真紀子
教育委員	綿貫 良子
教育委員	西岡 琴美

3 欠席委員

なし

4 出席事務局職員

教育部長	室田 和範
教育総務課 課長	檜垣 彰宏
学校教育課 課長	大田 恵也
生涯学習・スポーツ推進課 課長	西本 龍
文化財室 室長	大岡 弘明
柳井図書館・大畠図書館 館長	小柳 五寛
学校給食センター 所長	西本 佳孝
教育総務課 課長補佐（書記）	古谷 洋美

5 傍聽者

なし

6 會議日程

(1) 議案

- ①議案第20号 市長からの意見聴取について（令和7年度9月補正予算）
②報告第16号 令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果について
③報告第17号 柳井市スポーツ推進審議会委員の委嘱について

(2) その他

7 議事の大要

(1) 開会

教育長から、教育委員会会議の開会の宣言があった。

(午後1時30分 開会)

(2) 會議錄署名委員指名

教育長から、会議規則第13条の規定に基づき、綿貫委員、西岡委員の

両名を指名した。

(3) 議事内容

①議案第20号 市長からの意見聴取について（令和7年度9月補正予算）

教育長は事務局に説明を求め、大田課長、檜垣課長及び西本課長から一般会計予算9月補正について以下のとおり説明があった。

- ・事務局費のスクールソーシャルワーカー報償費について、家庭や学校で問題を抱える児童生徒に対して、社会福祉士等の資格や専門知識を有する者を派遣して問題解決の支援を行っているが、近年福祉に関する専門的な知見や関係機関とのネットワークを必要とする事例が増えていることにより増額を計上した。

- ・小学校費について、需用費の施設修繕料は、今後、各小学校の施設修繕料に不足が生じる見込みのため増額を計上した。

- ・小学校費及び中学校費の備品購入費は、市内小中学校の屋内運動場に移動式スポットエアコンを整備するための費用で、屋内運動場での体育の授業や部活動等を行う際に、熱中症等のリスクを軽減して、児童・生徒が活動しやすい学習環境づくりを図りたいと考えている。

- ・ウェルネスパーク管理費は、過疎債の内示に伴い一般財源から過疎債に財源振替を行うもの。

主な質疑応答は以下のとおり

厚坊委員：スクールソーシャルワーカー報償費の補正額は、1年間の予算になるのか。

大田課長：追加の予算となり、補正額と併せて年間の予算となる。

この他に質疑等はなく、各委員とも異議なしということで、原案どおり承認された。

②報告第16号 令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果について

教育長は事務局に説明を求め、大田課長から、本調査は、令和7年4月17日に実施し、調査結果の公表は、調査の目的や調査結果は学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であること、国や県の平均正答率との比較により、序列化や過度の競争をあおるものではないことを考慮して行う。

調査結果の概要は、教科に関する調査の結果になり、平均正答率は、柳井市全体として、小学校は、国語・算数・理科ともに全国平均を大きく上回り、中学校は、国語・理科は全国平均と同程度、数学は全国平均を下回る結果となった。

小学校国語では、特に成果がみられたのが「漢字を文中で正しく使うこと」で、特に課題の見られる点としては、「目的に応じて、必要な情報を見付けること」が挙げられる。

小学校算数では、特に成果がみられたのが「通分して分数のたし算をすること」で、特に課題の見られる点としては、「通分の仕組みについて、数

や言葉を用いて記述すること」が挙げられる。

小学校理科では、特に成果がみられたのが「粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、正しい実験方法を発想すること」で、特に課題の見られる点としては、「身の回りの金属について、電流を流す物、磁石に引き付けられる物があることの知識が身に付いている」が挙げられる。

中学校国語では、特に成果がみられたのが「文章全体と部分との関係に注意をしながら、登場人物の設定を捉えること」で、特に課題の見られる点としては、「文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えること」が挙げられる。

中学校数学では、特に成果がみられたのが「必ず起こる事柄の確率についての理解」で、特に課題の見られる点としては、「式の意味を読み取り、数学的な表現を用いて説明すること」が挙げられる。

中学校理科では、特に成果がみられたのが「気体の性質に関する知識が身に付いている」で、特に課題の見られる点としては、「電気回路に関する知識及び技能を活用して、正しい実験結果を予想すること」が挙げられる。

続いて、児童生徒質問紙の結果のうち、「愛、夢、志をはぐくむ教育」と関連性が高い項目の結果について、「将来の夢や目標をもっている」は、小学校では、当てはまる・どちらかといえば当てはまると肯定的に回答している割合が全国の結果と比べて多く、中学校は同程度と、望ましい状況がみられた。

次に、基本的な生活習慣や家庭学習をはじめ、家庭との関係性が高い項目の結果について、「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり1時間以上勉強する」は、肯定的に回答している割合が、小学校は全国の結果と同程度で、中学校は全国の結果と比べて多く、望ましい状況がみられた。

次に、児童生徒の地域や社会への関心と関連性が高い項目の結果について、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」は、小学校では肯定的に回答している割合が全国の結果と比べて多く、望ましい状況がみられたが、中学校においては、肯定的に回答している割合が全国の結果と比べて少なく、今後も地域や社会へ参画する姿勢の醸成にさらに努めていきたい。

最後に、主体的・対話的で深い学びのある授業と関連性が高い項目の結果について、「授業においてICT機器を積極的に活用する」は、小学校・中学校ともに、ほぼ毎日、週3回以上と回答している割合が全国の結果と比べて同程度となっている。また、「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげる」は、小学校では、肯定的に回答している割合が全国の結果と比べて多く、望ましい状況がみられたが、中学校では、全国の結果と比べて同程度となっていた。

今後の取組については、現在柳井市では、子どもが主体となって学ぶこ

とができるアクティブ・ラーニングの視点に立った授業改善を推進しているが、特に重点を置いている、授業で何が分かったのか、どんなことを学んだのか等、自己の成長を自覚できる「振り返り」のある授業づくりを引き続き進めていきたい。

また、ICT活用については、デジタル教科書やAIドリル等を活用した授業改善や家庭学習の充実につながる、より効果的なICT機器の活用をVIP（柳井市ICT活用推進プロジェクトチーム）を中心に研究していく必要があり、引き続き各学校と連携し確かな学力の定着と学ぶ喜びが味わえる教育活動の充実に努めるとの説明があった。

主な質疑応答は下記のとおり

厚坊委員：小学校の正答率はおおむね良いが、中学校はさらに伸ばしたい点で「数学の勉強は好きですか」の問いに－13.5%とある。教科や先生の好き嫌いで成果が出るのでは。学校はそれを踏まえて総合的にどう好きにしていけるかを考えていくと点数も上がってくるのでは。教え方や先生としての魅力も考えながらトータル的に課題解決をしていくことが大切である。

教育長：小学校の中学年から算数に特化して補助教員をつけてきた。その成果が今回出た。

厚坊委員：数学は縦の積み重ねなので、小学校の時から積み残しがないようにやっていくことが大切である。

大田課長：教員も、子どもたちにとって魅力ある授業、学級を作っていけるように力をつけていかなければならない。そういう手伝いをしていきたい。

厚坊委員：平均の数値だけが独り歩きせず、一人ひとりの伸びもみていくことを配慮してもらいたい。

綿貫委員：先日、克己堂を参観し、柳井市にもAIが入ってきたなとわくわくした。

大田課長：市教委としても、生成AIアプリを率先して使った提案性の高い授業であった。

綿貫委員：こういう経験を積んでいくことで、柳井市の子どもたちが、大学進学や就職したとき、臆することなく頑張っていってもらいたい。

大田課長：今年度は県費で県内全部の中学校に生成AIアプリが入っている。

③報告第17号 柳井市スポーツ推進審議会委員の委嘱について

教育長は事務局に説明を求め、西本課長から、柳井市スポーツ推進審議会条例第3条の規定により、瀬山真紀子氏ほか計10人に委嘱し、柳井市スポーツ推進計画の策定等のスポーツ施策、施設運営の審議などスポーツ推進に関する職務をお願いするもので、任期は、同条例第4条第1項の規

定により、令和7年7月1日から令和9年6月30日までの2年間との説明があった。

質疑等なし。

(4) 協議会

教育長から、暫時、協議会とする宣言があった。

(午後1時54分 協議会)

(午後2時10分 再開)

(5) 閉会

教育長から、教育委員会会議の閉会の宣言があった。

(午後2時10分 閉会)

上記会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

教 育 長 西 元 良 治

署名委員 綿 貫 良 子

署名委員 西 岡 琴 美

調 整 者 檜 垣 彰 宏